

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	市内中小企業者	経営の健全化及び活性化を図る。
現状・課題	新型コロナウイルス感染症により、中小企業者の事業活動に影響が出ており、制度資金の融資件数が増加している。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市商工業振興条例
事務事業概要	中小企業者への融資に必要な原資の預託を行い、県及び市制度資金の融資あっせん及び保証料の補給を行う。	
令和3年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	融資あっせん	年間通じて実施
	認定審査（セーフティネット5号ほか）	年間通じて実施
	信用保証協会への保証料の交付	毎月実施

事務事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	310,000,000	278,500,000	311,000,000
		補正・流用等	円	-32,280,000	50,400,000	—
		合計	円	277,720,000	328,900,000	311,000,000
	決算（見込）額 A		円	277,719,470	328,900,000	—
	財源内訳	国庫支出金	円		50,400,000	
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	264,420,977	270,000,000	290,000,000
	R2は予算額	一般財源	円	13,298,493	8,500,000	21,000,000
	正規職員数		人	0.49	0.41	0.39
	人件費 B		円	3,156,580	2,652,700	3,442,140
総事業費 A + B		円	280,876,050	331,552,700	314,442,140	
市民 1 人当たりコスト		円	6,602	7,821	7,463	

成果指標	アウトカム	方向		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
融資制度等の審査に要する日数		維持	目標	7	日	7	日	7	日
			成果	7	日	—	日	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	制度の性質上、迅速な審査等の対応が求められるため。								

令和３年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	融資制度等により、市内中小企業者の経営の健全化及び活性化を促進する。						

